

14年7月23日
環 境 局

黒須田川流入水路等ダイオキシン類対策に関する調査結果 について

1 大伸建設（株）王禅寺工場敷地内土壤等の調査結果

- ・ 6月14日に大伸建設(株)王禅寺工場敷地内で採取した土壤の調査結果（速報値）が得られましたので報告します。
- ・ 別紙資料1の地上部土壤10地点から9.7～250pg-TEQ/g，地下部5地点から0.65～290pg-TEQ/gのダイオキシン類を検出しました。
- ・ また，6月11日に採取したコンテナに保管されていた焼却灰からは4,100pg-TEQ/gのダイオキシン類を検出しました。
- ・ 今回調査した敷地内土壤は，全て土壤環境基準である1,000 pg-TEQ/gを下回っていました。
- ・ なお，以前の調査でNO.3排水口近くの敷地内U字溝の堆積物（5月2日採取）から3,100 pg-TEQ/g，NO.4排水口内の付着土（5月9日採取）から8,500 pg-TEQ/gを検出しましたが，これら高濃度の汚染土壤は，大伸建設(株)が周辺土壤とともに別途除去し，コンテナに保管しています。

2 農作物等の調査結果

- ・ 6月14日及び18日に健康とふれあいの広場を中心とした半径1Km以内における5地点で採取した9種類の農作物等の調査結果（速報値）も得られました。
- ・ ほうれんそうなどの葉菜類から0.0002～0.1 pg-TEQ/g-wet，トマトなどの果菜類から0.00021～0.0032 pg-TEQ/g-wet，にんじんなどの根菜類から0～0.0002pg-TEQ/g-wet，のダイオキシン類が検出されました（資料2）。
- ・ 葉菜類が最も高く，果菜類，根菜類の順で，中でももっとも高いものが葉菜類のほうれんそうで0.1 pg-TEQ/g-wet，最も低いものがにんじんの0 pg-TEQ/g-wet でした。

- ・ これらの野菜については、他の食品と同様、ダイオキシン類の許容摂取量が定められていませんが、国がこれまでに実施した全国調査と比較すると、今回調査した8種の野菜についての結果はその範囲内であり、これをこえる数値は検出されませんでしたので、特に問題となるものではないと考えられます。なお、セリについては、全国調査の対象にはありませんが、今回調査した葉菜類のこまつなと同じ結果でした。

これらの調査結果については、本日開催します第2回黒須田川流入水路等ダイオキシン類対策専門家会議に報告し、コメント等をいただくこととしています。なお、標記会議の次第を資料3に添付します。

問い合わせ先

生活環境部廃棄物指導課 (TEL 044-200-2592)
公害部水質課 (TEL 044-200-2519)
大気課 (TEL 044-200-2515)
化学物質担当 (TEL 044-200-2532)